



2017年度(平成30年3月期) 第2四半期 決算説明会

エーザイ株式会社
2017年11月1日

将来見通しに関する注意事項



- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。

2017年度第2四半期 連結業績(IFRS)



売上収益、営業利益、四半期利益において事業計画を達成

(億円、%)

	2016年4-9月		2017年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	2,699	100.0	2,851	100.0	106
売上原価	982	36.4	1,022	35.8	104
売上総利益	1,717	63.6	1,829	64.2	107
研究開発費	571	21.2	661	23.2	116
販売管理費	848	31.4	895	31.4	105
その他の損益	88	3.3	4	0.1	4
営業利益	386	14.3	277	9.7	72
四半期利益	296	11.0	204	7.1	69
四半期利益(親会社所有者帰属)	279	10.3	188	6.6	67

2017年度第2四半期期中平均レート 米ドル:111.06円(前期変動率+5.5%)、ユーロ:126.28円(同+6.9%)、英ポンド:143.61円(同△0.9%)、人民元:16.42円(同+3.1%)

* 当期より、経営の実態をより適切に表示するため、研究開発費の定義を明確化し、科学的エビデンスの創出ならびに医療従事者との共有などのメディカル・アフェアーズ活動に関連する費用の一部を研究開発費としている。これに伴い、前期の販売費及び一般管理費に含まれていた22億円を研究開発費に組み替えている。

本業での成長 全てのリージョンで増収を達成



日本 売上収益 1509億円(前同比101%)

新薬創出等加算品目等^{*1}が拡大し、対売上収益比率^{*2}は56%に到達

EAファーマの開発が加速:潰瘍性大腸炎治療剤 レクタブル^{*3} 国内製造販売の承認を取得(9月)

アメリカス 売上収益 580億円(前同比102%)

グローバルブランドの拡大 LENVIMA(前同比146%)、Halaven(同101%)、Fycompa(同139%)、BELVIQ(同120%)

中国 売上収益 280億円(前同比120%)

主力品の拡大 メチコバル(前同比116%)、アリセプト(同120%)、強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン(同119%)、パリエット(同130%)

Low Tier Market (中小都市/中小病院市場)への進出加速

EMEA 売上収益 212億円(前同比116%)

グローバルブランドの拡大 LENVIMA(前同比218%)、Halaven(同110%)、Fycompa(同116%)

ゼビニクス 5月に部分てんかん単剤療法の承認を取得し、成長が加速(前同比154%)

アジア 売上収益 212億円(前同比124%)

主力品の拡大 アリセプト(前同比122%)、ヒュミラ(同127%)

グローバルブランドの拡大 LENVIMA(前同比609%)、Halaven(同128%)、Fycompa(同182%)

患者様支援プログラム(PAP)によるアクセスの強化

*1 新薬創出等加算品目を中心とした13品目:ハラヴェン、レンビマ、フィコンバ、ヒュミラ、ルネスタ、マクスルト、ホストイン、ケアラム、イノベロン、ナーブロック、キリアデル、トリアキシン、リリカ(アライアンス収入)

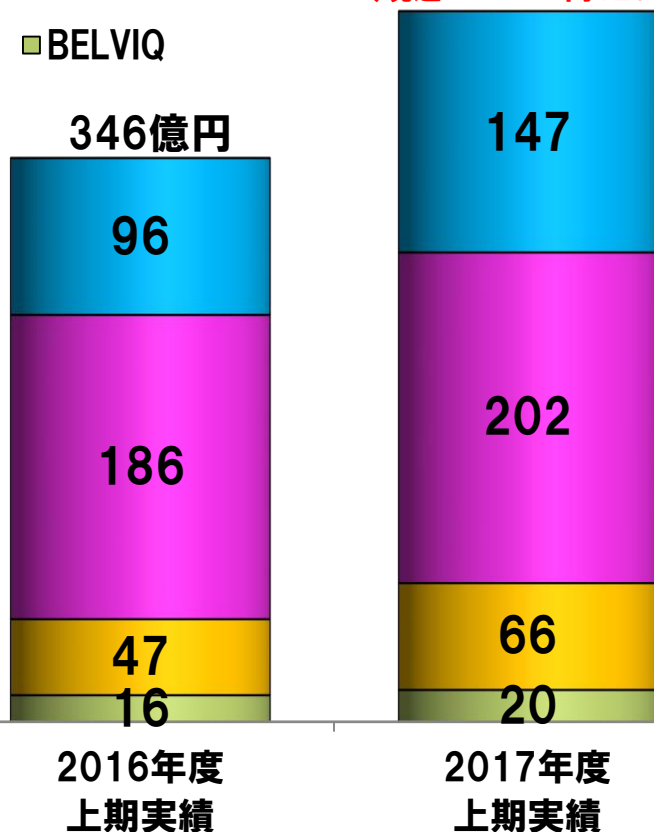
*2 新薬創出等加算品目等13品目の売上収益/医療用医薬品(EAファーマ製品を除く)の売上収益 *3 Dr. Falk Pharma社(ドイツ)より導入品、キッセイ薬品工業株式会社との共同開発

本業での成長 グローバルブランドの拡大



グローバルブランド4品 売上収益 (億円)

- LENVIMA
- Halaven
- Fycompa
- BELVIQ



- ✓ 甲状腺がん患者様への貢献が全リージョンで順調に拡大
- ✓ 腎細胞がんの承認*2取得国が約40カ国に拡大



- ✓ 特に難治性乳がん患者様のすべてのライン*3で幅広く使用され、前同比108%の安定的な成長



- ✓ 米国では、部分てんかんにおける単剤療法の承認取得(2017年7月)を契機として患者様貢献が拡大
- ✓ 日本では、2017年6月の投薬期間制限解除以降、既存抗てんかん剤治療患者様への追加投薬ではトップシェアを獲得*4



- ✓ 台湾、イスラエルで上市達成、上市国は4カ国*5に拡大

*1 現地通貨ベース: 為替レートの変動による影響を除いた数値 *2 2ndライン、エベロリムスとの併用

*3 米国での適応症: 局所進行性・転移性乳がん3rdライン以降、欧州での適応症: 局所進行性・転移性乳がん2ndライン以降、日本での適応症: 手術不能または再発乳がん

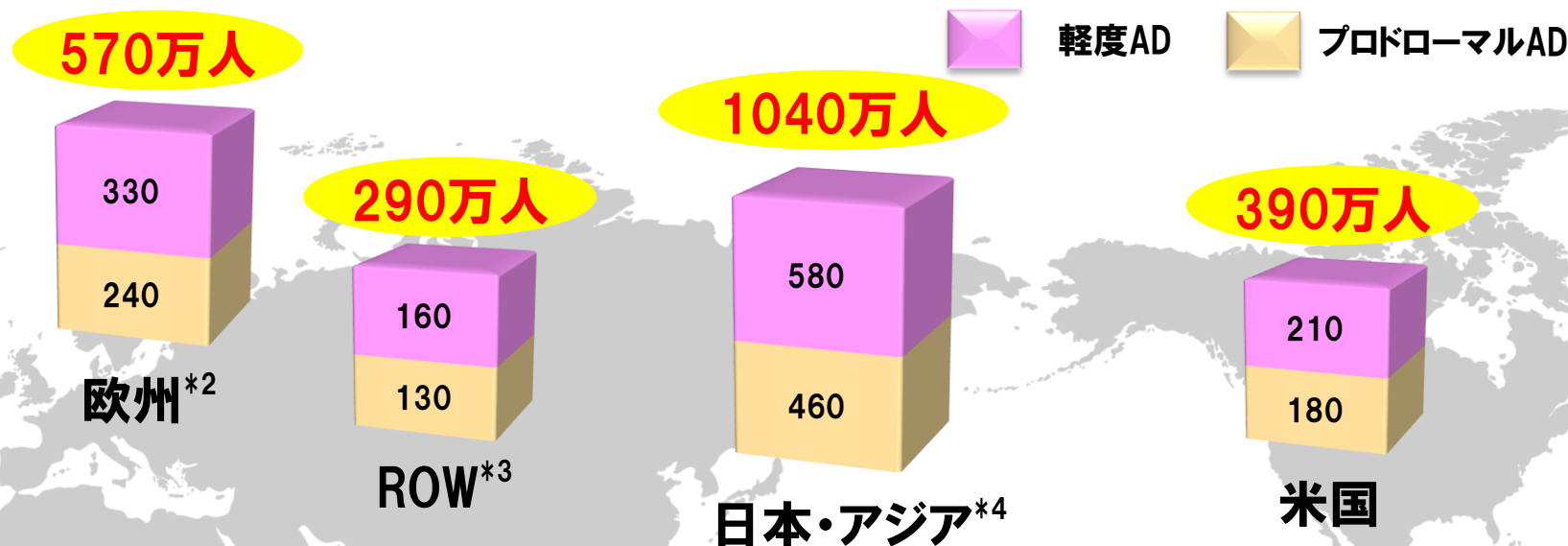
*4 出典: 株式会社医療情報総合研究所レポート *5 米国、韓国、台湾、イスラエル。韓国、台湾、イスラエルはパートナーを通じて販売。

認知症領域

次世代AD治療剤の患者様貢献ポテンシャル



世界のAβ陽性の早期アルツハイマー病(AD)患者様数*1(万人)



くすり
次世代AD
治療剤

合計**2,290**万人(2028年)
の患者様に次世代AD治療剤を
お届けする使命を果たす

ソリューション
医療環境
社会環境
の整備

*1 出典: Decision Resourcesのデータを参考に作成した社内推計(2028年の推計)。数値は概数。

*2 イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、オーストリア、ギリシャ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、スウェーデン、スイス、ベルギー、チェコ、デンマーク、フィンランド、トルコ

*3 Rest of the world: ブラジル、メキシコ、オーストラリア

*4 日本、中国、韓国、インド、台湾、香港、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、タイ、ベトナム、ミャンマー

3つの考察に基づいてAD治療剤に関する バイオジェンとの提携契約の拡大を判断



**世界最先端の経験・ノウハウを通じて
次世代三候補品*全体の成功確度向上をめざす**

**A β 仮説支持の情報が強化される中、
A β 関連の取り組みを強化する**

**両社のフルコミットメントにより認知症に関わる
医療・社会環境整備の諸課題に取り組む**

* Aducanumab、Elenbecestat(E2609の一般名、現時点で最終確定したものではない)、BAN2401(BioArcticからの導入品)。3品ともバイオジェンとの共同開発。

次世代AD治療剤三候補品の開発

世界最先端の経験・ノウハウを最大限に活かす



Aducanumab*1
(抗Aβ抗体)

フェーズIII試験(ENGAGE、EMERGE) 進行中
2018年半ばに患者様登録完了予定

CTAD2017*2でフェーズIIb長期継続投与試験の新たなデータを発表予定

Elenbecestat*1,3
(BACE阻害剤)

フェーズIII試験
MISSION AD1、MISSION AD2*4 進行中



北米、日本、欧州、アジア・オセアニアの284施設*5で登録開始、2017年度中に480施設をオープン予定
2020年度主要評価項目のトップライン結果取得予定

BAN2401*1,6
(抗Aβプロトフィブリル抗体)

フェーズII試験進行中

2018年1月までにトップライン結果*7、
2018年度中にフル解析結果*8を取得予定

試験で企図した患者様疾患ステージのエントリーを実現
プロドローマルAD:64%、軽度AD:36%

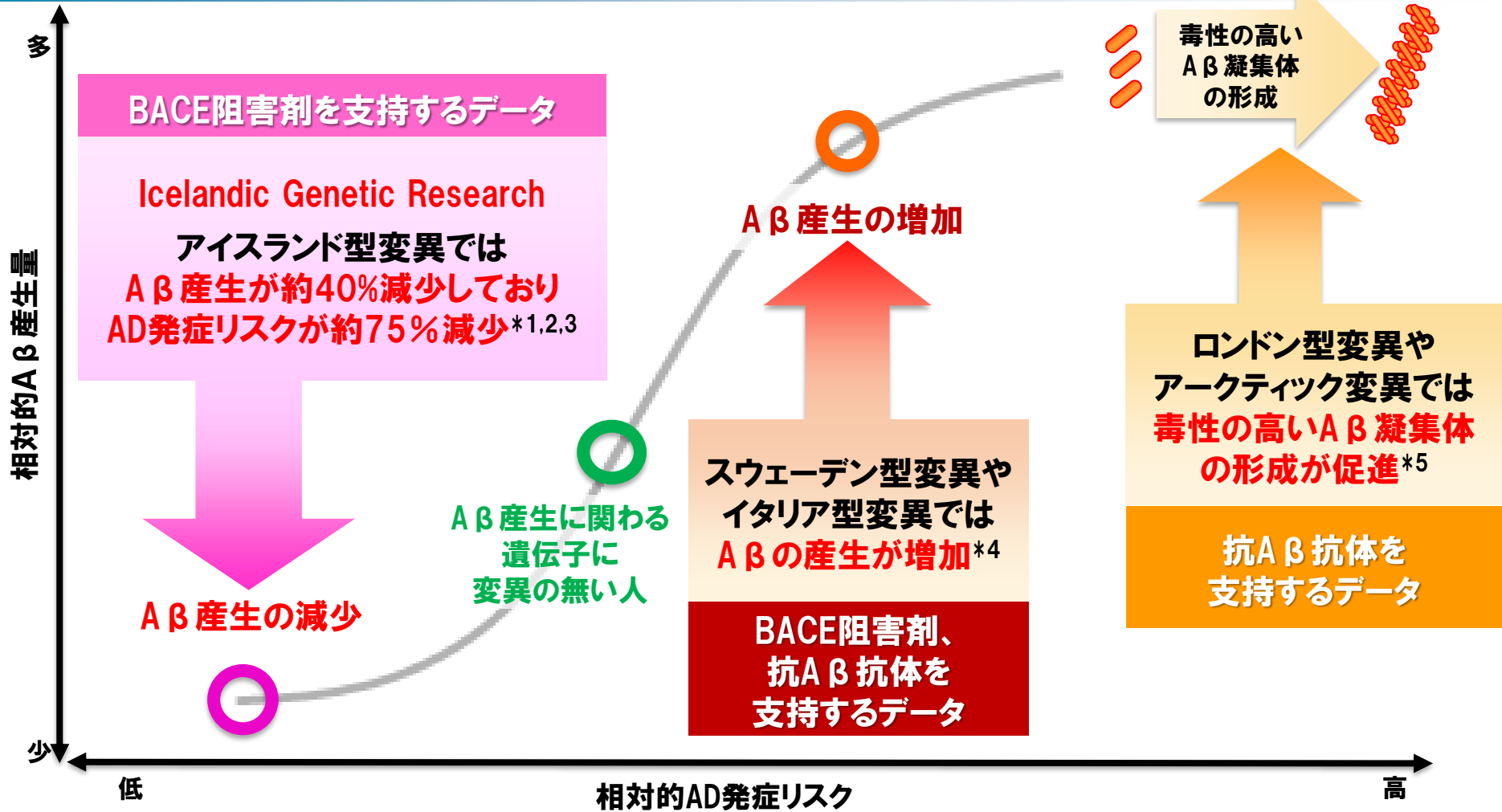
ベジアン解析の結果は、フェーズIIIデザイン策定への有用情報となる

- 16回の中間解析の結果からより多くの患者様が割り付けられる最適用量群について、充実した情報を得られる
- 最適用量群ではプラセボと比較して認知機能(ADCOMS)の悪化をポテンシャルに10%~52%の範囲で抑制できていると推測
- 12カ月*9のベジアン解析では、CSD*10(認知機能の悪化を25%抑制)を達成する確率が80%以上かの結果を得る
- 18カ月*11の最終解析結果では、ADCOMS・MMSE・CDR-SB・ADAS-cog等の臨床評価指標(認知機能を中心)、PETによるAβ量、CSF*12中のAβ・タウ量、vMRIによる海馬体積等のバイオマーカー等のより長期・詳細な臨床データを得て判断

当局と相談の上でフェーズIII試験1本での実施を追究、併用療法の可能性も検討

*1 バイオジェンとの共同開発 *2 第10回アルツハイマー病臨床試験会議(Clinical Trials on Alzheimer's Disease) *3 E2609の一般名(現時点で最終確定したものではない)
*4 E2609のフェーズIII試験の名称(AD1は301試験、AD2は302試験) *5 2017年10月27日時点 *6 BioArcticからの導入品 *7 主要評価項目:Alzheimer's Disease Composite Score(ADCOMS)
(12カ月時点) *8 副次評価項目(3項目):ADCOMS(18カ月時点)、vMRIで測定したトータル海馬体積(6、12、18カ月時点)、アミロイドPETで測定した脳内アミロイドレベル(12、18カ月時点)
*9 856症例割付時の12カ月後 *10 CSD: Clinically Significant Difference 一般的に臨床的に意義があると考えられている差 *11 856症例割付時の18カ月後 *12 脳脊髄液

Aβ仮説支持の情報が強化される中、Aβ関連の取り揃えを強化する ジェネティック情報からAβの産生・凝集体形成と AD発症リスクの相関が強く示唆された



*1 Jonsson, T. et al. (2012) A mutation in APP protects against Alzheimer's disease and age-related cognitive decline. Nature 488: 96-99
 *2 Maloney, J. A. et al (2014) Molecular mechanisms of Alzheimer disease protection by the A673T allele of amyloid precursor protein. J Biol Chem 289: 30990-31000
 *3 Martiskainen H, et al (2017) Jul; 82 (1): 128-132. doi: 10.1002/ana.24969. Decreased plasma beta-amyloid in Alzheimer's disease APP A673T variant carriers.
 *4 Di Fede et al. (2009) A Recessive Mutation in the APP Gene with Dominant-Negative Effect on Amyloidogenesis. Science 323:1473-1477
 *5 Nilserth, C et al. (2001) The 'Arctic' APP mutation (E693G) causes Alzheimer's disease by enhanced Abeta protofibril formation. Nat. Neurosci. 4 887-893

両社のフルコミットメントにより認知症に関わる 医療・社会環境整備の諸課題に取り組む

◆ 質的に異なる疾患啓発活動の展開

- アリセプトを発売した1990年代の疾患啓発はアルツハイマー病そのものの啓発であった
- 認知障害が発症する以前から、A β の蓄積や睡眠障害・行動障害が発生することが判明し、早期診断・早期治療が重要であり、特に、次世代治療薬では進行抑制などの先制医療実現可能性があることを啓発

◆ 認知症診断法のパラダイムシフト（主観的から客観的な評価方法へ）

- 早期診断のためのスケールの改良や客観的な診断法の開発
- PETイメージング、脳脊髄液検査の保険適応などA β 測定 of 診断機会を拡大
- 血中測定法の開発

◆ 新興国でのアクセス

- 新興国の認知症患者様数は、2030年には1.7倍、2050年には3.3倍に増加*
- 低・中所得層へのドラッグアクセスの方策の検討

◆ 次世代治療剤の価値評価法

- Value Accessにおいて社会的費用削減効果が正しく評価されるモデルの検討

不眠障害の適応でより早期の患者様貢献をめざす

**高齢者にも安全なベストインクラスの
不眠障害治療剤をめざして**

303試験、304試験の2本のフェーズIII試験が進行中

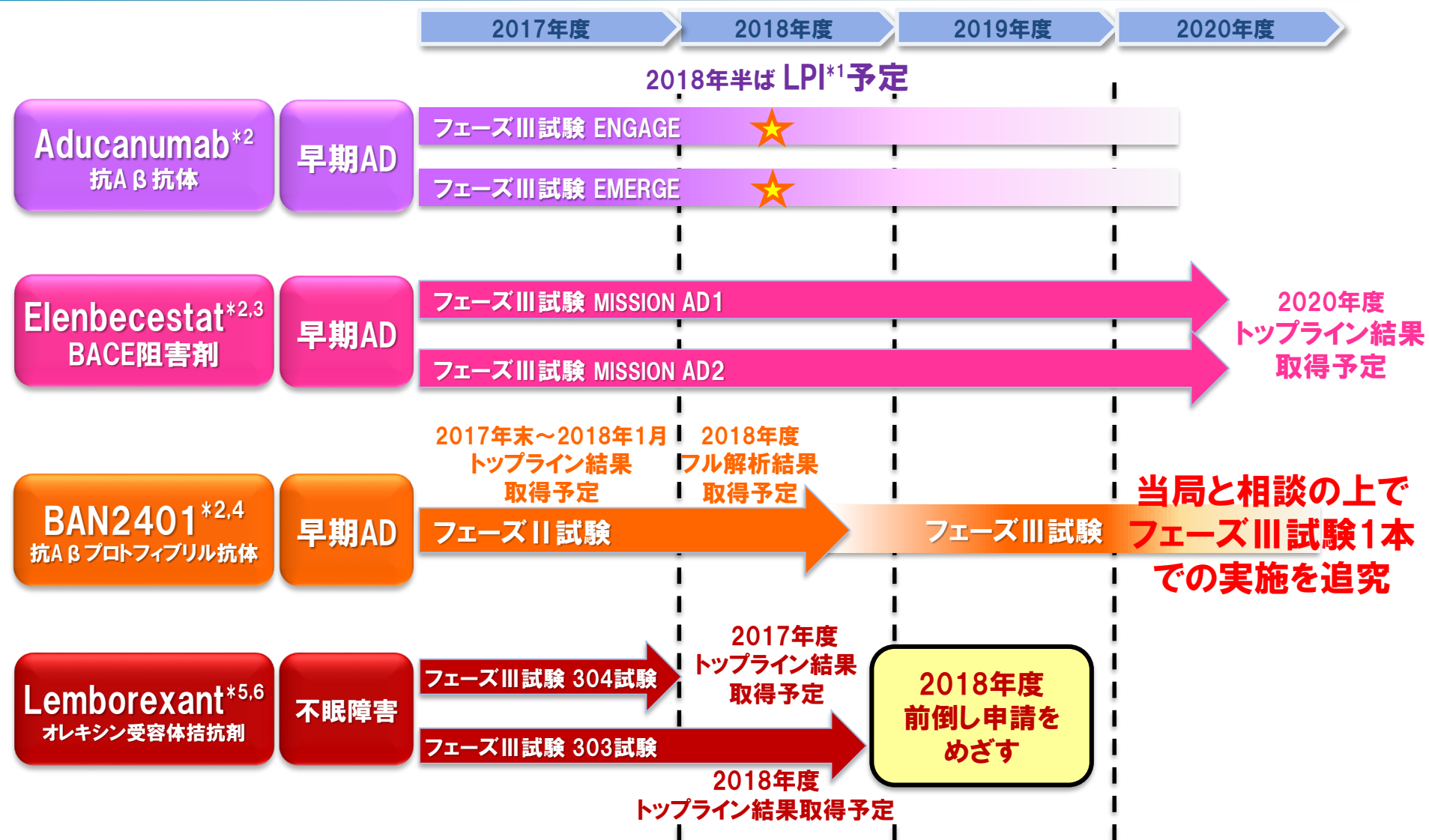
2本のフェーズIII試験の結果で

**これまでの申請予定時期2019年度から
前倒しし2018年度に申請をめざす**

認知症領域 主要パイプライン



順調に承認を取得すれば、2020年度以降立て続けに新薬創出が可能



*1 Last Patient In *2 バイオジェンとの共同開発 *3 E2609の一般名(現時点で最終確定したものではない) *4 BioArcticからの導入品 *5 Purdue Pharmaとの共同開発
*6 AD/認知症患者様を対象とした不規則睡眠覚醒リズム障害(ISWRD)のフェーズII試験が進行中

がん領域

肝細胞がん グローバル申請の加速

欧州

2017年7月 申請達成

日本

2017年6月 申請達成

米国

2017年7月 申請達成
2017年9月 FDAが申請を受領
PDUFA*1アクションデート
2018年5月24日

中国

**2017年10月30日
新薬承認申請受理**

全世界における肝がん患者様のうち
中国が占める割合 約**50%***2

- 日本、中国を含むアジア地域に約80%の患者様が集中*2
- 中国における肝がんの年間新規患者様数39万5千人、年間死亡者数38万3千人*2

- ESMO^{*1}においてQOL^{*2}悪化を遅延させる効果を発表^{*3}

QLQ-C30の下痢、痛み、役割機能、およびQLQ HCC18の身体イメージ、栄養状態について、本薬群はソラフェニブ群と比較して臨床的に意義のある悪化の遅延を示した(名目 p 値 <0.05)

- ILCA^{*4}においてHBV^{*5}陽性の肝細胞がんに対する優れた治療効果を発表^{*6}

ソラフェニブでは延命効果の低減が示唆されているHBV陽性の肝細胞がん患者様に対して新たな治療オプションとなる可能性を示唆

評価項目	全体集団		HBV陽性の肝細胞がん患者様の部分集団	
	レンバチニブ群 (n=478)	ソラフェニブ群 (n=476)	レンバチニブ群 (n=259)	ソラフェニブ群 (n=244)
OS中央値(月)	13.6 (12.1-14.9)	12.3 (10.4-13.9)	13.4 (11.6-14.6)	10.2 (8.6-12.4)
HR(95% CI)	0.92 (0.79-1.06)		0.83 (0.68-1.02)	

*1 European Society for Medical Oncology 欧州臨床腫瘍学会年次総会(2017年9月) *2 Quality of Life

*3 抄録番号6180 Health-related Quality of Life and Disease Symptoms in Patients With Unresectable Hepatocellular Carcinoma Treated With Lenvatinib or Sorafenib

*4 International Liver Cancer Association 国際肝癌学会年次総会(2017年9月) *5 HBV:Hepatitis B Virus B型肝炎ウイルス

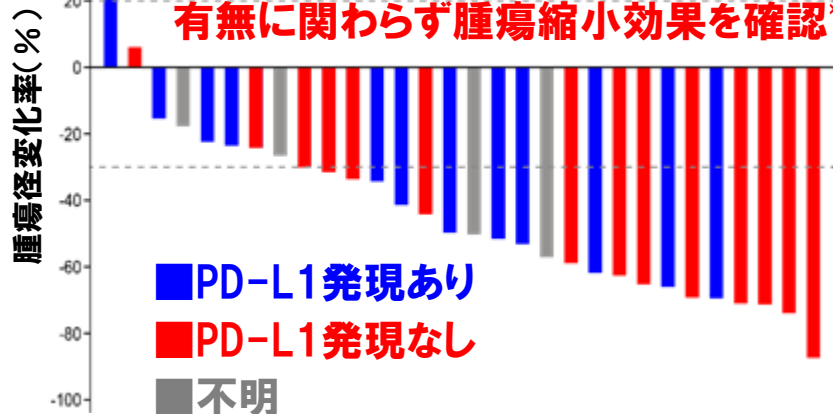
*6 Efficacy and Safety of Lenvatinib for Unresectable Hepatocellular Carcinoma in Patients With Baseline Hepatitis B Virus

ペムブロリズマブとの3つの併用療法試験の進展



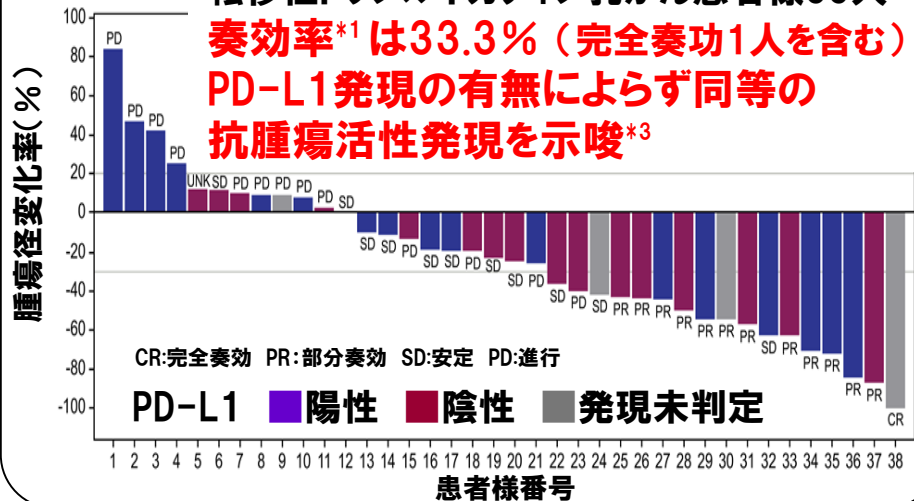
レンビマ

転移性腎細胞がん患者様30人
奏効率*1は63%、PD-L1発現の有無に関わらず腫瘍縮小効果を確認*2



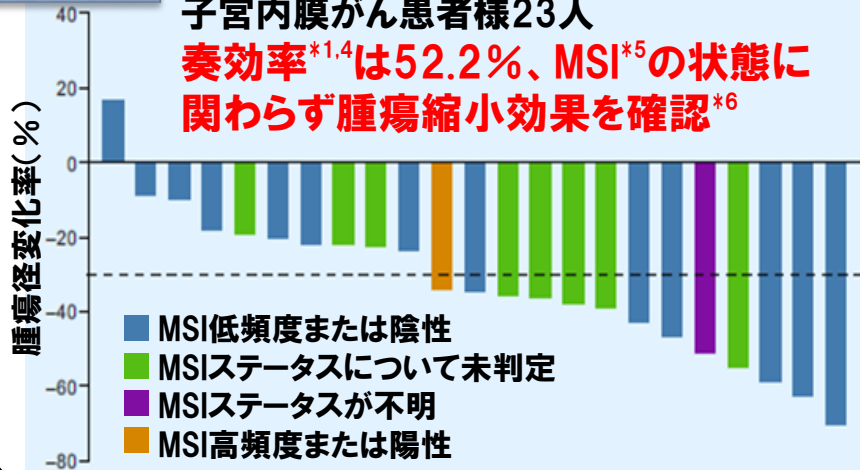
ハラヴェン

転移性トリプルネガティブ乳がん患者様39人
奏効率*1は33.3%（完全奏功1人を含む）
PD-L1発現の有無によらず同等の抗腫瘍活性発現を示唆*3



レンビマ

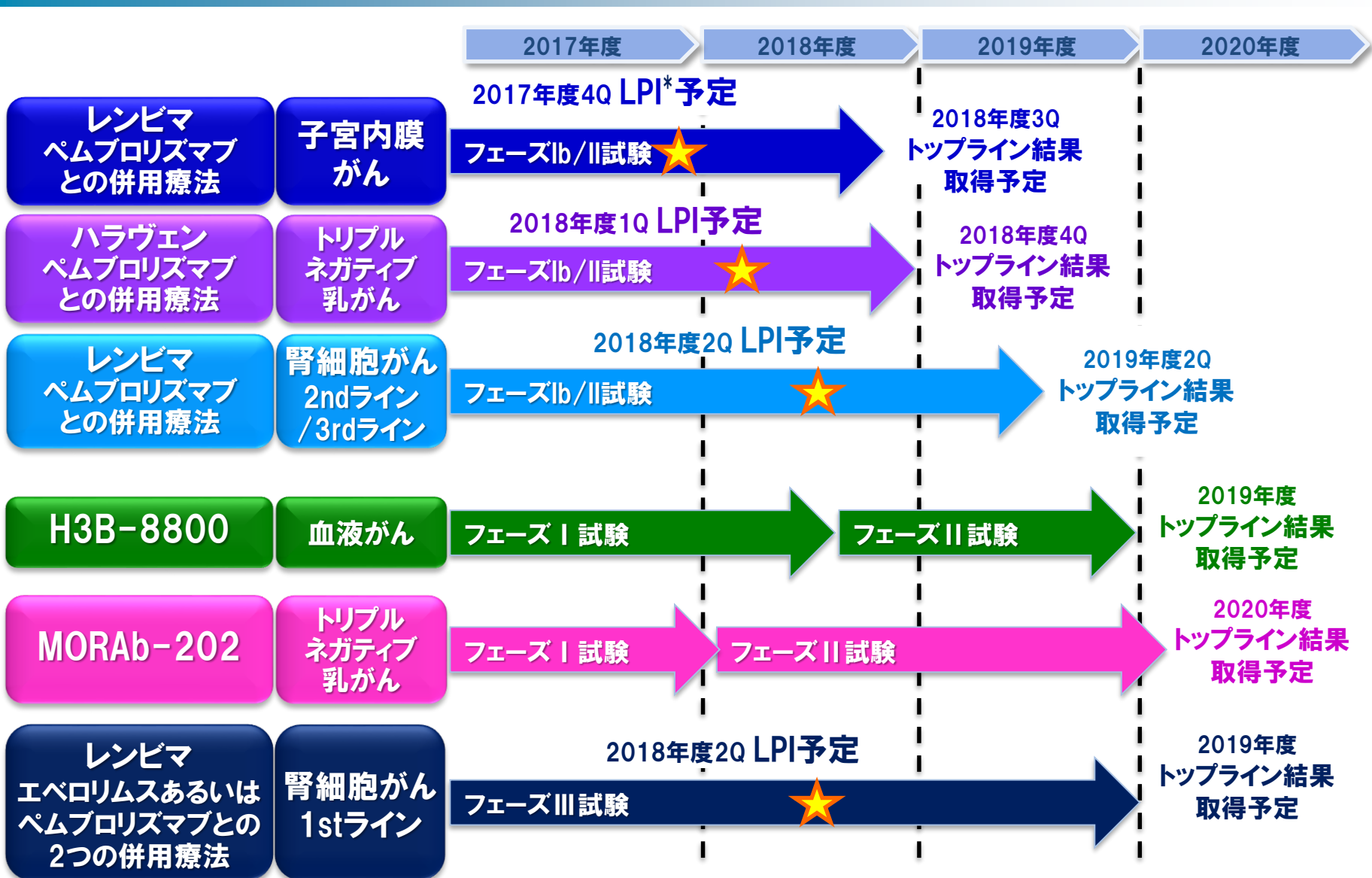
子宮内膜がん患者様23人
奏効率*1,4は52.2%、MSI*5の状態に関わらず腫瘍縮小効果を確認*6



併用療法で各単剤療法を上回る奏効率を確認

*1 治療の実施後に腫瘍が消滅した「完全奏効」または腫瘍の大きさの和が30%以上縮小した「部分奏効」の合計の割合
 *2 European Society for Medical Oncology 欧州臨床腫瘍学会年次総会(2017年9月) 抄録番号8470 A Phase 1b/2 Trial of Lenvatinib + Pembrolizumab in Patients With Renal Cell Carcinoma
 *3 2016 39th Annual San Antonio Breast Cancer Symposium 抄録番号P5-15-02 "Phase 1b/2 study to evaluate eribulin mesylate in combination with pembrolizumab in patients with metastatic triple-negative breast cancer"
 *4 独立画像判定に基づく *5 Microsatellite instability: マイクロサテライト不安定
 *6 2017 ASCO (American Society Clinical Oncology) Annual Meetingにて発表 抄録番号5598 "A phase 1b/2 trial of lenvatinib plus pembrolizumab in patients with endometrial carcinoma"

がん領域 主要パイプライン



2017年度 連結業績見通し(IFRS)

成長への積極投資を実行、増収増益を見通す



(億円、%)

	2016年度		2017年度		
	実績	売上比	見通し	売上比	前期比
売上収益	5,391	100.0	5,755	100.0	107
売上原価	1,959	36.3	2,060	35.8	105
売上総利益	3,432	63.7	3,695	64.2	108
研究開発費	1,172	21.7	1,340	23.3	114
販売管理費	1,749	32.5	1,775	30.8	101
その他の損益	80	1.5	20	0.3	25
営業利益	591	11.0	600	10.4	102
当期利益	422	7.8	413	7.2	98
当期利益(親会社所有者帰属)	394	7.3	398	6.9	101
EPS(円)	137.6		139.2		101
ROE(%)	6.8		6.8		
DOE(%)	7.4		7.4		
配当金(円)	150		150		

2016年度期中平均レート 米ドル:108.38円、ユーロ:118.78円、英ポンド:141.59円、人民元:16.10円
 2017年度期中平均予想レート 米ドル:113円、ユーロ:120円、英ポンド:141円、人民元:16.3円

* 本連結業績見通しには、当社が2017年5月3日に発表した、米国における制吐剤「Aloxi」の特許侵害訴訟に関するリスクによる影響は含めていない。
 ** 当期より、経営の実態をより適切に表示するため、研究開発費の定義を明確化し、科学的エビデンスの創出ならびに医療従事者との共有などのメディカル・アフェアーズ活動に関連する費用の一部を研究開発費としている。これに伴い、前期の販売費及び一般管理費に含まれていた47億円を研究開発費に組み替えている。

参考資料

セグメント売上収益

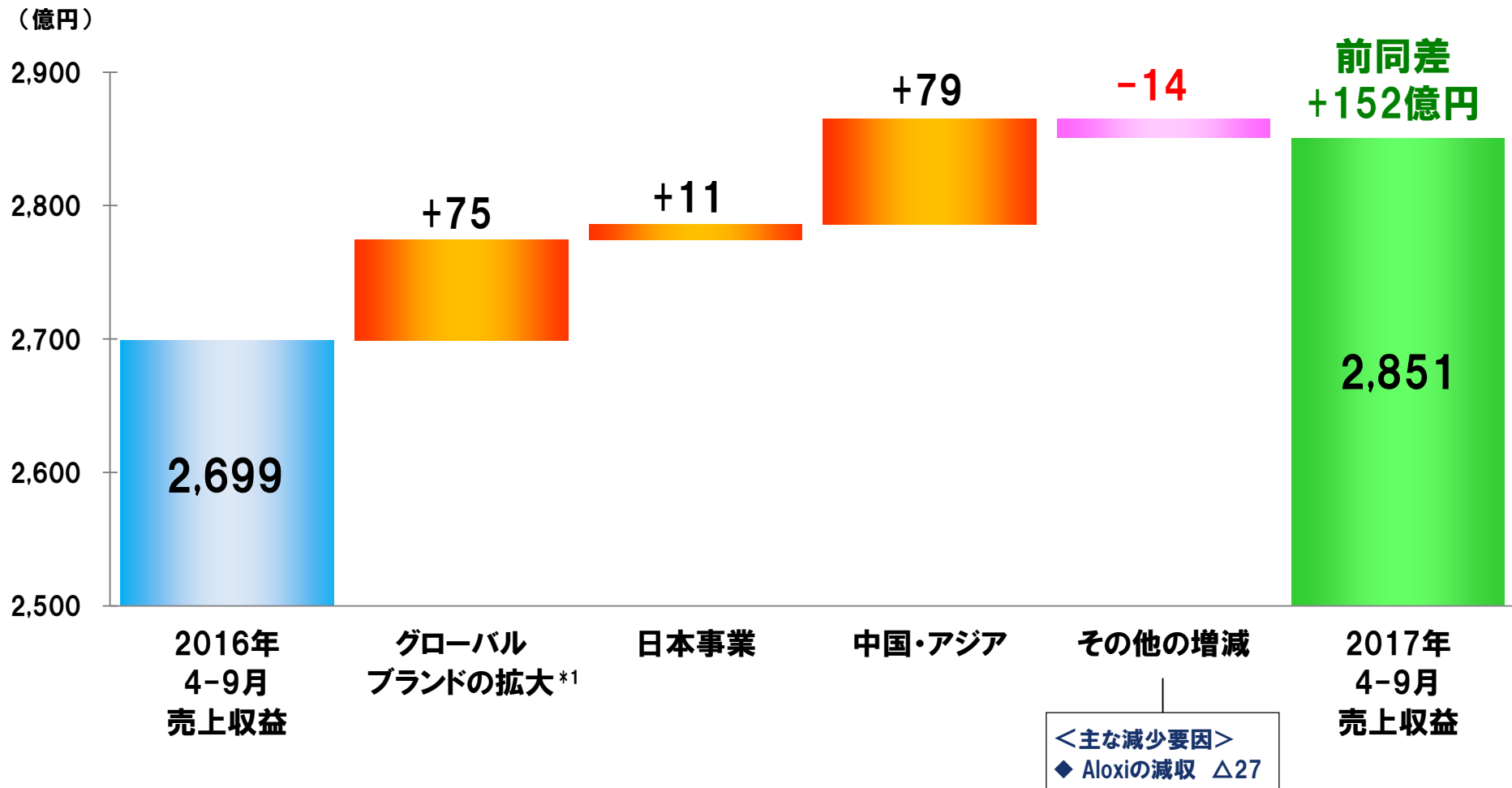


(億円、%)

	2016年4-9月		2017年4-9月		
	売上収益	構成比	売上収益	構成比	前同比
日本*1	1,497	55.5	1,509	52.9	101
アメリカス*2	569	21.1	580	20.3	102
中国	234	8.7	280	9.8	120
EMEA*3	182	6.7	212	7.4	116
アジア*4	171	6.3	212	7.4	124
医薬品事業計	2,652	98.3	2,792	97.9	105
その他事業	47	1.7	59	2.1	127
連結売上収益	2,699	100.0	2,851	100.0	106

*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品、一般用医薬品 *2 北米、中南米 *3 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア *4 韓国、台湾、香港、インド、アセアン等

売上収益の増減要因分析



* 増減要因の数値は概数

*1 LENVIMA、Halaven、Fycompa、BELVIQの売上収益を表示、日本事業の実績は除く

セグメント利益



(億円、%)

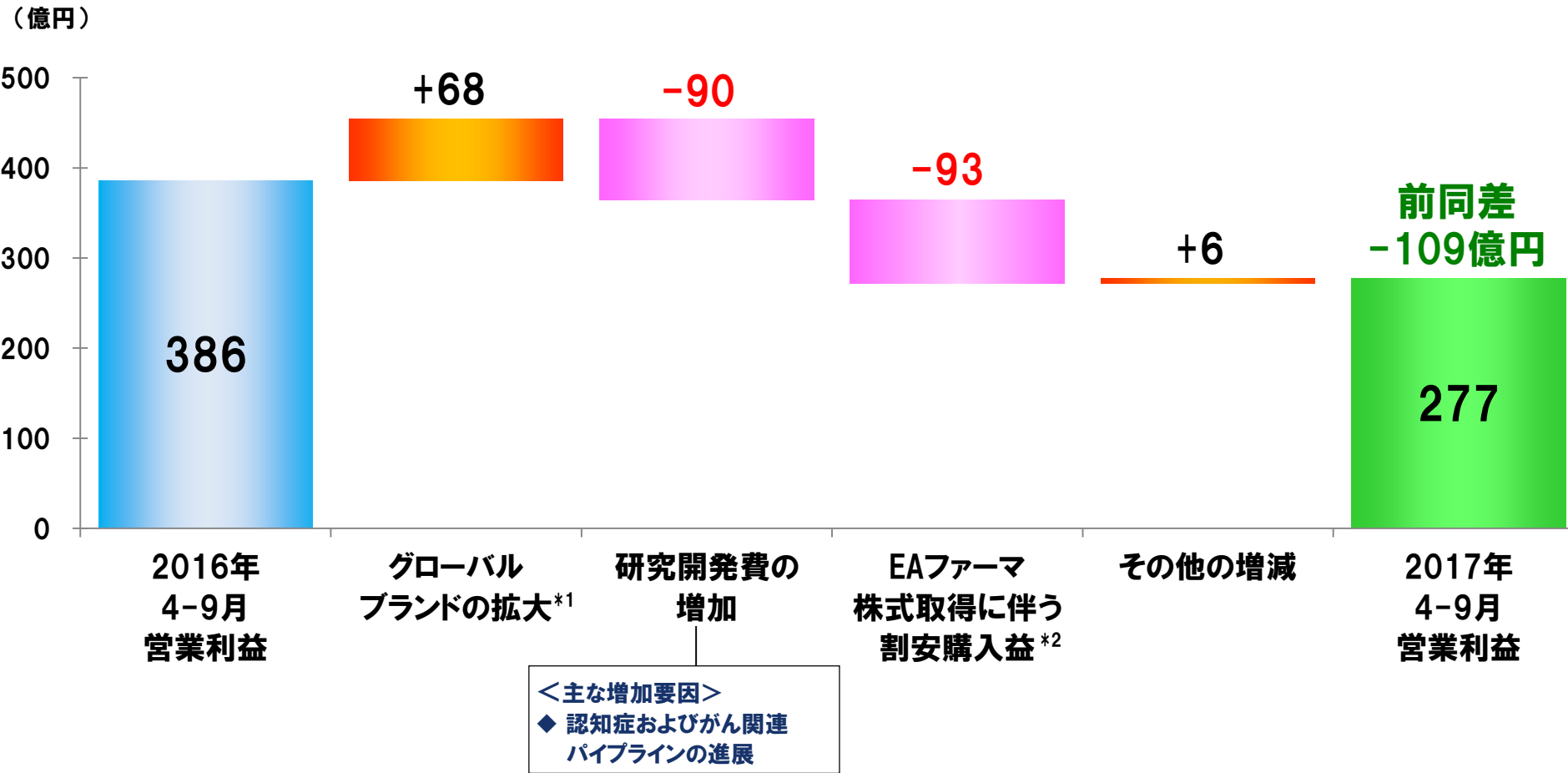
	2016年4-9月			2017年4-9月			
	セグメント利益	構成比	利益率	セグメント利益	構成比	利益率	前同比
日本*1	553	59.2	37.0	556	55.8	36.9	101
アメリカス*2	173	18.5	30.5	197	19.8	34.0	114
中国	74	7.9	31.6	84	8.4	30.1	114
EMEA*3	76	8.1	41.7	73	7.3	34.5	96
アジア*4	47	5.1	27.8	66	6.6	31.1	139
医薬品事業計	924	98.8	34.8	977	97.9	35.0	106
その他事業	11	1.2	24.4	21	2.1	36.0	187
セグメント利益計	935	100.0	34.6	998	100.0	35.0	107
研究開発費および 親会社の本社管理費等	△643			△721			
割安購入益*5	93						
子会社株式売却益*6	1						
連結営業利益	386		14.3	277		9.7	72

* 当期より、経営の実態をより適切に表示するため、研究開発費の定義を明確化し、科学的エビデンスの創出ならびに医療従事者との共有などのメディカル・アフェアーズ活動に関連する費用の一部を研究開発費としている。これに伴い、前期の販売費及び一般管理費に含まれていたメディカル・アフェアーズ活動に関連する費用の一部を研究開発費に組み替えている。

*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品、一般用医薬品 *2 北米、中南米 *3 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア *4 韓国、台湾、香港、インド、アセアン等

*5 2016年4月にEAファーマ株式取得に伴い割安購入益を計上 *6 2016年4月にサンノーバ(株)を譲渡

営業利益の増減要因分析



* 当期より、経営の実態をより適切に表示するため、研究開発費の定義を明確化し、科学的エビデンスの創出ならびに医療従事者との共有などのメディカル・アフェアーズ活動に関連する費用の一部を研究開発費としている。これに伴い、前期の販売費及び一般管理費に含まれていた22億円を研究開発費に組み替えている。

** 増減要因の数値は概数

*1 LENVIMA、Halaven、Fycompa、BELVIQの営業利益を表示、日本事業の実績は除く *2 2016年度1Q計上

日本医薬品事業の業績



(億円、%)

	2016年4-9月		2017年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	1,497	100.0	1,509	100.0	101
医療用医薬品計	1,267	84.6	1,263	83.7	100
ヒュミラ	190	12.7	218	14.5	115
アリセプト	164	11.0	133	8.8	81
リリカ*1	119	7.9	132	8.7	111
バリエット*2, 3	115	7.7	92	6.1	80
メチコバル	96	6.4	90	5.9	93
ルネスタ	38	2.5	50	3.3	132
ハラヴェン	40	2.7	47	3.1	118
トリアキシ	20	1.4	35	2.3	170
エレンタール*2	34	2.3	34	2.3	101
ワーファリン	36	2.4	32	2.1	87
リーバクト*2	34	2.3	31	2.1	91
レンビマ	14	0.9	15	1.0	111
フィコンパ	2	0.1	7	0.5	383
ジェネリック医薬品	135	9.0	136	9.0	101
一般用医薬品等	95	6.4	110	7.3	115
セグメント利益	553	37.0	556	36.9	101

アメリカス医薬品事業の業績



(億円、%)

	2016年4-9月		2017年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	569	100.0	580	100.0	102 [97]
Aloxi	241	42.4	215	37.0	89 [84]
レンビマ	69	12.2	101	17.4	146 [138]
ハラヴェン	83	14.6	84	14.5	101 [95]
Banzel	64	11.2	80	13.7	125 [119]
Fycompa	23	4.0	32	5.5	139 [132]
アシフェックス	35	6.2	31	5.3	86 [82]
BELVIQ	16	2.9	20	3.4	120 [114]
セグメント利益	173	30.5	197	34.0	114 [107]

[]内は現地通貨ベース

* 当期より、経営の実態をより適切に表示するため、研究開発費の定義を明確化し、科学的エビデンスの創出ならびに医療従事者との共有などのメディカル・アフェアーズ活動に関連する費用の一部を研究開発費としている。これに伴い、前期の販売費及び一般管理費に含まれていたメディカル・アフェアーズ活動に関連する費用の一部を研究開発費に組み替えている。

中国医薬品事業の業績



(億円、%)

	2016年4-9月		2017年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	234	100.0	280	100.0	120 [116]
メチコパール	88	37.5	102	36.5	116 [113]
強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン	40	17.2	48	17.1	119 [115]
アリセプト	29	12.5	35	12.6	120 [117]
パリエット	18	7.7	23	8.3	130 [126]
セグメント利益	74	31.6	84	30.1	114 [109]

[]内は現地通貨ベース

* 当期より、経営の実態をより適切に表示するため、研究開発費の定義を明確化し、科学的エビデンスの創出ならびに医療従事者との共有などのメディカル・アフェアーズ活動に関連する費用の一部を研究開発費としている。これに伴い、前期の販売費及び一般管理費に含まれていたメディカル・アフェアーズ活動に関連する費用の一部を研究開発費に組み替えている。

EMEA* 医薬品事業の業績



(億円、%)

	2016年4-9月		2017年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	182	100.0	212	100.0	116 [110]
ハラヴェン	53	29.3	58	27.6	110 [103]
Zebinix	17	9.4	26	12.4	154 [145]
レンピマ/Kispplx	12	6.6	26	12.3	218 [205]
Fycompa	21	11.6	24	11.5	116 [110]
ゾネグラン	28	15.5	22	10.2	77 [73]
イノベロン	9	5.1	11	5.2	119 [113]
セグメント利益	76	41.7	73	34.5	96 [85]

[]内は現地通貨ベース

* 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

** 当期より、経営の実態をより適切に表示するため、研究開発費の定義を明確化し、科学的エビデンスの創出ならびに医療従事者との共有などのメディカル・アフェアーズ活動に関連する費用の一部を研究開発費としている。これに伴い、前期の販売費及び一般管理費に含まれていたメディカル・アフェアーズ活動に関連する費用の一部を研究開発費に組み替えている。

アジア*医薬品事業の業績



(億円、%)

	2016年4-9月		2017年4-9月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上収益	171	100.0	212	100.0	124 [115]
ヒュミラ	47	27.8	60	28.3	127 [117]
アリセプト	48	28.0	58	27.5	122 [113]
パリエット	17	10.1	21	10.1	125 [116]
メチコパール	14	8.1	17	8.0	123 [113]
ハラヴェン	10	5.9	13	6.1	128 [117]
レンビマ	1	0.5	5	2.5	609 [580]
Fycompa	2	0.9	3	1.3	182 [168]
セグメント利益	47	27.8	66	31.1	139 [127]

* 韓国、台湾、香港、インド、アセアン等

[]内は現地通貨ベース